

1997

11

月号

NOVEMBER

No. 328

花と緑と水のまち



広報

みまた

俺のような男になるんだぞ!

榎山すもう大会で孫を抱いて土俵入りした
おじいちゃん



いきいきさん (17)

交通安全を祈って

黒木 キミ子さん



赤・黄・青・白のビニールひもが巧みに編み込まれている色鮮やかな、わずか4センチのわらじに似せたミニ飾り。作るのは、梶山にお住まいの黒木キミ子さん。

黒木さんがミニ飾りを作る切っ掛けは、昨年の春の出来事によるものです。「宮崎市に住む妹と自動車に乗って買い物に行った時のことでした。途中、交通安全の街頭キャンペーンに遭遇して、飲み物や手作りの品をもらいました。その時に、わらじを作った経験をいかして、ミニ飾りを作ろうと思いました」。

それから、早速、自宅で創作することに。「最初は、手本がなかったので試行錯誤の連続でした。途中、何度もやめようと思いましたが、何とかやり遂げました。一对のミニ飾りが完成した時は、とてもうれしかったですね。それから、毎日少しずつ作っては、グラウンドゴルフの仲間や知り合いに差し上げていました」。

ミニ飾りは、多くの方々に喜ばれ、注文をする人もいたといいます。

作り始めて、1カ月を過ぎようとした頃、黒木さんはあることを考えました。それは、「ミニ飾りを交通安全に役立ててもらいたい」ということでした。そして、友人に相談。「友人は、作ることに賛成してくれました。それから、約一カ月かけて百三十組を作り、知り合いを通じて役場に届けてもらいました」。

そのミニ飾りには、「交通安全」の文字の入った黄色のリボンが取り付けられていました。

役場では、秋の交通安全運動の街頭キャンペーンの際に、そのミニ飾りをドライバーに進呈。それを手にした方々は大変喜んでいました。

「役場の担当者からお礼の電話があり、『またこれからも作ってください』といわれたときには、少し恥ずかしい思いがしました」。

黒木さんは、それから、交通安全運動の前にはミニ飾りを作って、役場に届けられています。

「ミニ飾りを手に入れた人たちが、交通安全を守って、一人でも交通事故の犠牲者が少なくなることを祈っています」。その思いは飾りの一つ一つに込められています。

そして、年末の交通安全運動の前に、寒さをこらえて、今夜もミニ飾りづくりで励んでおられます。

編集後記

先月半ば、差し込むような腹痛におそれ、病院に行った。「急性虫垂炎」と診断されて、すぐに手術を受けることに。それは、生まれて初めての入院生活になった。

昔は、入院することに多少のあこがれを抱いていたが、実際に入院するとそうではない。部屋のガラス一枚隔てた向こう側には、楽しい現実が見えていて、今までの生活がうらやましくも思った。

そして、13日ぶりに退院。待っていたのは、山積みになった書類と広報の仕事だった。現実には甘くないなあー。

M・Y

訂正とお詫び

先月号の教育委員の紹介で川原氏は「三股町の女性の教育委員」と記載しましたが、二代目でした。

また、いきいきさんで、大久保さんの症状を「胃がん」と記載しましたが、「胃かいよう腫瘍」の誤りでした。訂正して深くお詫びいたします。

三股町の人口

平成9年11月1日現在			
男	11,297人	出生	25人
女	12,572人	死亡	8人
計	23,869人	転入	100人
前月比	+35人 転出 82人		
世帯数	8,469戸(+19戸)		



第2回童謡まつりinみまた

「豊かさ」と「ゆとり」を実感 第2回童謡まつりinみまた



「第2回童謡まつりinみまた」は、十月十九日、三股西小体育館で開かれ、町内外のコーラスグループや園児、家族、学生、カラオケ同好会など二十二団体、約三百四十名が美しい歌声を披露しました。まつりは、童謡やわらべ歌を歌うことによって、「心の豊かさ」や「ゆとり」を呼び起こし、豊かな人間性を培う文教の町づくりに目指そうと、童謡を愛する方々で組織した実行委員会（会長 愛甲進一 委員十二名）が主催したもので、出演者は、持ち時間五分以内で二曲から三曲の歌を披露し、その息の合った歌声に、会場に詰めかけた約三百人の観客は大きな拍手を送っていました。まつりの最後は、観客と出演者の全員で「赤とんぼ」を合唱し、なごやかな雰囲気の中、閉幕しました。

文化の日

功労者3名を表彰



左から隈田原さん、山元町長、野崎さん、茨木さん

町は、平成九年度町表彰式を11月3日、役場大会議室で開き、元選挙管理委員会会長の隈田原昌恭さん(71)ら3名を表彰しました。式は、各分野で本町の発展に貢献した人や町民の模範となっているものです。式には、町三役をはじめ、県議会議員や町議会議員、教育委員、自治公民館長、各種民主団体の長など関係者約百名が出席し、受賞を祝福しました。受賞者の功績を紹介します。

行政特別功労賞

「公正な選挙に16年」

隈田原昌恭さん(71歳)

昭和五十五年十二月から平成八年十二月までの十六年間、選挙管理委員として、十回の国政選挙と十九回の地方選挙の事務にたずさわられ、公正かつ適正な選挙の執行と明るい選挙の実現に尽力されました。

在職期間中、平成四年十二月から四年間、委員長を務められており、平成八年十月の衆議院議員選挙では、小選挙区と比例代表制という新制度の中で、委員長としての重責を全されました。

このように、本町の地方自治の発展に大きく貢献されました。

功労賞(教育部門)

「文化財の指定に貢献」

野崎 正巳さん(80歳)

茨木 次夫さん(76歳)

野崎さんは、昭和五十五年四月から平成八年九月までの十六年間、町教育委員会の文化財保存調査委員として文化財の発掘、保存にたずさわられ、文化財の指定に尽力されたほか、社会教育指導員や町史改訂版編さん委員を務められました。

茨木さんは、昭和五十五年四月から町教育委員会の文化財保存調査委員を務められており、文化財の発掘、保存にたずさわられ、文化財の指定に尽力されたほか、町史改訂版編さん委員を務められました。



▲受賞者を代表して謝辞を述べる隈田原さん

社会福祉大会に1200人

心豊かなまちづくりを宣言

町は、「あたたかみのある町づくり」をめざすと、十月十九日、町体育館で、第二回社会福祉大会を開催しました。これは、二十一世紀を目前に、子供の数が減っているなかで、高齢化が進むという少子・高齢化問題や高齢者、身体障害者、知的障害者の生活の保障と、積極的に社会参加ができる社会構造の実現など、自治体が抱えている様々な福祉問題を広く住民に理解してもらおうと昨年から開いているものです。式には、町議会議員、小中学校の関係者、各種民主団体の代表、福祉関係者など来賓約二百名と、福祉に対する関心の高さを反映して約千名の町民が詰めかけました。



表彰を受ける山田幸子さん

七十三名を表彰

開会式では、主催者を代表して山元町長が、「これから福祉は、人にやさしい町づくりを柱に、高齢者や身体障害者が快適な生活を送れるように町民の皆さんと手を携えて福祉行政を推し進めていきたい」とあいさつ。

その後、町は社会福祉の発展に功績のあった二十九名を功労者として、国民健康保険加入世帯で長年にわたって医療費給付を受けなかった三十一世帯を健康優良世帯として表彰しました。

また、老人クラブ連合会は役員として長年功労のあった六名と寝たきり者等の介護にあたって七名を表彰しました。

受賞者を代表して、元町老人クラブ連合会長の高橋安恒さん(81)は「本日、光栄な賞をいただいたことはこの上ない喜びです。これからも町の福祉発展のために微力ながらお役にたきたい」と謝辞を述べました。



謝辞を述べる高橋さん

受賞者は次の方々(敬称略)

◎社会福祉事業功労者
(社会福祉法人または団体の役員で経歴十年以上)

屋敷武志・渡辺美代子・若宮忠・中西初子・山田セツ・山之内徹・野見山政・兒玉サナエ・大重ハツエ・高橋安恒・皿良政末・兒玉常道・松山和美・津崎義清・兒島紀子・兒玉羊子・田嶋ミル

(社会福祉施設または団体業務に二十年以上従事する職員)

森美乃・木場田桂子・吉行チャ子・尾之上利江・二宮啓子・西口真理子

◎社会福祉民間奉仕者
(家庭介護功労者)

森修二・三溝君子

(自立更生者)

山田幸子・中内忠典・石坂月見・小牧ミツキ

◎国民健康保険健康優良世帯

出水富則・陣健三郎・平川良信・木佐貫一・中村義盛・中村健一・兒玉輪・西畑伍夫・屋野徳雄・高畑實男・吉川正秋・小倉トキエ・山下ヨシ子・中西シツエ・中原正一・山領ナル子・新原築・山田清子・松田伍夫・黒木フミエ・綿屋福利・福留フヂ子・別納キミエ・山下真・下沖勉・香妻武則・川原正七・田辺カツ子・梶原恒夫・中内ミエ子・平川弘

◎町老人クラブ連合会長表彰

(永年役員、クラブ育成の部) 假屋哲夫・畠中一夫・乗峯マスエ・谷山勝・福重盛徳・岩崎民子

(ねたきり者等の介護の部)

中内美保子・久保スミエ・安田サツ子・今村秀正・中野シヅエ・米満富士子・別府次夫



発表する児童

障害者などの苦勞を実感

表彰の後、町内の小中高校の児童・生徒5名が福祉啓発作文を発表しました。作品は、身障者の体験学習や福祉問題、日常生活で感じたことなど様々で、ある児童は、祖母の入院が切っ掛けで、病気があった祖父の世話したときのことを発表。着物の脱ぎ着させなど初めは嫌々だったが、日が経つにつれて祖父のやさしさを実感し、お年寄りを差別していた自分を反省したというもの。

参加者の多くは、子供たちの素直な気持ちに心を打たれた様子で、時折、涙を浮かべている方も見受けられました。

発表者は次の方(敬称略)

三股小5年 堂領 望美
勝岡小5年 山元 恵理
三股西小6年 小山田真理
三股中3年 宮丸 裕也
都城東高校2年 中原 早苗

その後、町日赤奉仕団員の内村ノリ子さんが大会宣言文を読みあげ、参加者一同「心豊かな住みよい福祉のまちづくり」を誓いました。

宣言文の一部

高齢者や障害者が健康で安心してくらせる温かみのある福祉の町づくりと、障害者が地域住民と共に生きがいを持って安心に暮らせる福祉の町づくりをみんなが支え、地域との関わりをもつことが望まれます。わたしたちは、「やさしいまち 三股町」づくりをモットーに「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるような在宅福祉サービスが必要とする人が利用しやすい、また親・子・孫三世代が豊かで安らかに住み続けられるような「住みよい三股町」の実現に向けて、ここに第二回三股町社会福祉大会を開催します。

感動を誘った演奏

大会宣言の後、郷土史研究家の鳥集忠男氏による記念講演が開かれました。「南九州の数え唄とミタマシズメ」という演題で、南九州に伝わる数え唄は、水に由来し、どの地域の歌詞も内容は同じであるというもの。諸県弁と特徴のある話ぶりは、観衆の心を引き付け、会場の雰囲気を一気に盛り上げました。

大会の最後は、アトラクションとして、三味線、和太鼓、ピアノなどの演奏が繰り広げられました。中でも観客

盛り上がったスポーツ大会

午後からは、武道体育館で「福祉スポーツ大会」を開催。老人クラブ会員や民主団体の役員など約五百名が参加して、居住地や団体ごとに分かれ争われました。

ほとんどが団体競技で、二人一組で小道具を使うユニークなものなど多種多様。なかには二度三度失敗を繰り返し



ピアノを演奏する堀内君

の心をつかんだのは、県立盲学校の中学1年生の堀内剛君のピアノ演奏。ピアノから奏でられるモーツァルト作曲の「ソナタ第一楽章」と「幻想曲」の素晴らしい音色に、多くの参加者が感動の拍手を送っていました。

会場いっぱいには笑い声が湧くことも。時折、応援合戦が繰り広げられるなど和やかな雰囲気で進みました。



スポーツ大会の様子

シリーズ 町の歴史

三股の50年を探る

(その8)

本町の婦人会は、敗戦の挫折から立ち上がった地域の婦人たちが新しい時代の息吹の下に、民主的な活動を展開しようとする活動が施行された昭和二十三年と時を同じくして発足しました。当時は、町内の婦人のほとんどは組織に加入していませんでした。以後、民主主義思想は会員の意識の中に定着し、活動は年々盛んになっていきました。特に、昭和二十八年から昭和三十三年の時期は盛んで、野菜などの作物や料理の品評会、野菜づくり講習等の開かれる会場は、人であふれかえっていたといえます。しかし、昭和五十一年ごろから会員は減少し始め、昭和六十一年になると会員の半数は就労、町婦人連絡協議会の加入者は、五百七十名になりました。それから十二年経った現在、加入者は、二百五十名と半分以下にまで落ち込みました。今月号では、平成四年から婦人連絡協議会を務められている山王原にお住まいの大村三千子さんに婦人会の歴史について伺いました。



女性消防隊員

はまったく違う新しい時代の訪れを感じました。そして、私自身の社会に対する考え方や見方が大きく変わりました。

問 青年団を退団されたのはいつですか？

また、婦人会に加入されたのはいつでしょうか？

大村 結婚した昭和二十五年、二十三歳のとき青年団を退団しました。

そして、昭和二十八年、二十六歳のとき、東原の婦人会に入りました。地域の婦人のほとんどは組織に加入していませんでした。入るのはあたり前という時代だったからですね。当時の、会員数は、はっきりしませんが、確か七十名

く変わったわけですが、大村さん自身、何か変わったことがありましたか？

大村 私は、当時、青年団に所属していました。その頃、青年団の意識を改革するためいろいろな場所で民主主義教育が行われました。例えば、戦前、禁止されていたダンス教室はその一例と言えます。

私は、当時、役場の職員だったことや、町の青年女性の役員だったことから、九州各地で開催される民主政治の研修に行かれました。そこで、今までの帝国主義思想と

問 大村さんの青年時期は戦争が最も激しかった時だったと思いますが、当時のことについてお話しただけなんでしょうか？

大村 18歳の頃だったと思います。当時、三原にあった飛行場の軍人宿舎を慰問して、おどりを踊ったり、飛行場の土木作業など奉仕作業に駆り出されていました。

その頃は、弁当持参で、大豆をいっただものやメリケン粉を練って作った焼きパンを昼食代わりにしていました。

問 終戦を迎え、時代は大きく



昭和39年の頃の早馬まつりの模様

はいたと思います。上は七十歳、下は二十歳まで幅広い年齢層でした。

問 当時の婦人会の活動はどのようなものでしたか？

大村 家庭生活に関することが主でした。集落館などで行われる料理の講習会や野菜作り講習会などです。

その他には、消防団活動にも積極的に協力してました。ある年には、女性消防隊として出初式に出場したこともありました。式では、バケツリレーを披露したり、団員と一緒に進んで行きました。また、地元で火災が発生し

た時には、婦人会員全員で炊き出しを行ない、おにぎりや漬物を消防団員に提供しました。神社の祭にも参加して、おどりを踊ったりもしましたね。

問 現在、山王原の婦人会に加入されていますが、活動内容を教えてください。

大村 料理講習を年三回ほどやりますね。甘酒や麵つゆ、味噌づくりなど様々です。

その他には、年一回、父母の日の行事として、七十歳以上の方々を招待して、手作りの料理でもてなす会を開いています。

また、毎月二回、老人クラブ会員の方々と一緒に、神社の掃除も行なっています。

問 婦人会の活動として特に印象に残っていることはありますか？

大村 昭和三十年代後半から五十年代前半にかけて、新生活運動の一環として中央公民館で開かれていた結婚披露宴のお料理を作るお手伝いをしていました。いまでは想像もできないことでしょうか。

問 現在、婦人会の会員は減少していますが、その原因は何でしょうか？

大村 一番の原因は、会社勤めなど就労している婦人が多くなったことだと思います。その他に、婦人会の活動に対する理解が薄くなってきたことや他のグループ活動などに所属している方が多くなってきたからでしょう。

問 これからの婦人会の活動についてどのようにお考えでしょうか？

大村 婦人会の歴史は古く、いままでに様々な活動を展開しています。婦人の参政権の

町制施行50周年記念式典情報

来年の5月10日に予定している式典について、一部内容が決まりましたのでご紹介します。

会場は、三股中学校体育館です。

式典の内容は、午前中に記念表彰や記念講演、午後からは、郷土芸能発表やコンサート、落語などのアトラクションを予定しています。

町制50年を記念する意義のある式典にしたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。



ふるさとまつりでは毎年、生ごみを処理する「ぼかし」などを販売

問 最後に、三股町や社会に対する意見や期待することなどございましたらお聞かせください。

大村 戦後、女性の地位は向上しました。そのことによっ

て、女性の社会の中で果たす役割は、年々増してきています。これからも、地域づくり、町づくりのために、女性が大いに活躍することを期待します。



大村 三千子さん

昭和2年1月23日生まれ

昭和35年4月から昭和58年3月まで町商工会に勤務。昭和60年4月、町婦人連絡協議会書記、昭和62年4月、同副会長、平成4年4月から16代会長。平成7年度から資源ゴミ回収指導員、現在に至る。



人間早馬競争に出場したメンバーです

■ 紙面国際交流コーナー ■

11 月

ジェーソン・ウィリアムス

網かけの部分が英文にしております。
中学生、高校生の皆さん英文を訳してみましょう！

先月の31日、ヨーロッパの視察研修から残暑が溢れている秋の三股に帰ってきました。今度の旅は、天気のことです。いろいろ反省させられました。まずはドイツに行って、同じ秋の季節なのに、寒さは比べものになりませんでした。着いてから、間もなくして風邪を引いてしまいました。フランスを通過してイギリスに到着した時は、気温が比較的に暖かかったので、海洋と大陸気候の違いを新鮮に思い知らされました。イギリスの一般の人は、常に傘を持って歩くぐらい雨がいつ降るか分からないと言われていました。しかし幸運にも、ヨーロッパに滞在した11日間は、雨は1回も降らず、ほとんどずっと(ヨーロッパ)晴れでした。これは初めての経験でした。

私は今まで母国のイギリスから外国に滞在することがいろいろありましたが、必ず1年の間にせめて1回ぐらいイギリスに帰るようにしていました。ところが、この間は初めて1年以上、イギリスの空気を吸わずに、外国にいたわけです。帰ってから、実感したのはイギリスの社会の状況やいろんな生活の場面の雰囲気までもその記憶が遠ざかっていってしまったということでした。いろんなところをまわって、その場の雰囲気を味わえて、「久しぶりだな」とつくづく思いました。しばらくその気持ちに浸らせていただいて、精神的には栄養満点の旅行でした。

三股に住んでもう2年半弱になります。その前の滞在も含めば、4年に近い期間です。今は26才ですので、人生の割りと大きい部分は日本

で過ごせました。この間、イギリスに帰ってから、次いでに日本にも帰ったという不思議な気がしました。住めば都ということがありますが、三股に帰って正にその通りだと実感できました。しかし、もしいつかイギリスに住むために帰ったら、ある程度慣れる時間があると予測します。

もう過ぎましたけれども、今月の三股ふるさとまつりは来られましたか？三股は3年目なのに、前のけがのせいで私にとっては初めての参加で、楽しくて、一杯いい思い出ができました。日曜日は国際交流コーナーを設けて、北諸県郡に住んでいる外国人と一緒にカボチャ掘り、子供の顔にペンキ塗装、イギリスのスコーンというお菓子と紅茶またはコーヒーを提供し、野球の原形のス

ポーツのクリケットも教えました。午後は、役場の前に6人の変な格好をしていた外国人を見た方は何人かいらっしやると思います。人生に何でも一回体験した方がいいと言われましたが、それはもう二度と、絶対しません。しかし、たまに恥ずかしい思い出もいいじゃないですか！写真を撮った方は処分して下さい。

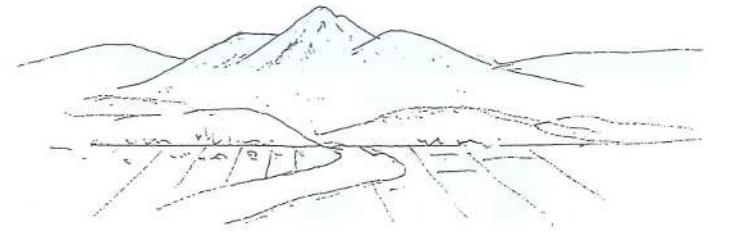
来月の国際交流の事業をちょっとここで宣伝させていただきます。12月13、14日の土日は御池の少年自然の家で国際交流のキャンプを行います。対象者は小学生の4・5・6年生になります。今年来日した新しい国際交流員と英語の先生を呼んで、一緒にやりますので、お楽しみにして下さい！

Let's Have a Go

It has already passed but did you come to the Mimata festival this month? Although it is my third year in Mimata, due to previous injuries it was the first time that I participated in this event. I enjoyed it and made many good memories. On the Sunday I set up an international corner and, together with some foreigners who live in the Kitamorokata area, we carved pumpkins, did children's face painting, provided English scones with tea and coffee, and taught people cricket which is the original form of baseball.

In the afternoon I think that some people saw six strangely dressed foreigners in front of the town hall. I was told that you should experience anything once in your life but that I will definitely not do again. However isn't it good to have memories that are embarrassing! Anyone who took photos please throw them away.

ふるさとへの便り



在京三股会を終えて

新森 修 (44) (蓼池出身)

私、新人幹事にとって「在京三股会」を盛会のうちに無事にすませることができ、胸をなでおろしているところです。

今年で十四回目を迎え、毎年、三股町から町長をはじめ、議長、職員の方々に出席していただき感謝しております。

在京三股会に、一回、三回と出席しているうちに、先輩幹事の「ちった、ワケモンの意見も聞かせっの」と、いうおだてに乗せられて、私みたいな若輩者が幹事の仲間入りとなったわけです。

三八〇名いらっしやる会員の皆様への出欠のはがきの郵送、まとめ、名簿の訂正、出席者の名札の



入替え・・・etc

在京三股会も回を重ねることに会員の皆様と顔なじみになり、年に一回しか会わないのに、何のわけだかまもなく打ちとけられる、同郷のなつかしさでしようか？

出席者のなかでも、我々「花のニッパチ組」は若い方で、皆様にかわいがられて、若者、若者、とおだてられて、その日は、いい気分になっております。

総会、会計報告、あいさつ……。在京三股会のメイン・イベントである「ビンゴゲーム」、ビンゴゲームの達人、松本さんによる進行、なんとも楽しいひとときです。一次会はみんなで和気あいあいと、二次会、三次会は、同窓会へと、流れは変わっていく様です。

私たちがもちなみに、小学校からの同級生と連絡を取り、年に一回、会の様にしております。時間の経つのも忘れて終電に乗り遅れそうになり、新宿の街を走って駅

まで行った事もあります。「じゃ、また」と、言ってから、一年です。

私も田舎の生活より、千葉での生活の方が長くなり、結婚二十年、大学生と高校生の子供達、幼なじみの女房、息子が小四の時から始めた野球と一緒に行く様になる、我が子は成長して高三になるのに、自分はブルズと、土・日・祭日は、少年野球にどっぷりはまっています。

近所に住む兄貴共々、子供達の育成に頑張っています。息子の野球を通じて、小、中、高と地元の方々と出会い、ふれあいさせていただいております。

最後に「在京三股会」出席の皆様には、三股中創立五十年記念事業の寄付に多数、ご賛同いただき、ありがとうございます。我、ふるさと三股



10月25日に開かれた在京三股会

町の皆様へ
町制施行五十周年に向けて「ふるさと三股町」の益々の発展と皆様の健康をお祈り申し上げます。

子どもたちの

考えは「いま」

「子どもの声を聞く会」を開催

子供たちが日ごろ疑問に思っていることや社会や家庭に対する意見、地球環境問題、将来の夢などの声を聞こうと、「子供の声を聞く会」が十一月三日、役場大会議室で町表彰式に引き続き開かれ、町内の各小中学校の代表児童・生徒八名が力強く発表しました。会には、町内の民主体の代表や小中学校長、PTA役員など約百五十名が出席し、真剣に聞き入っていました。八名の子供たちの声を三カ月にわたって紹介します。



後方左から 下沖さん、山崎くん、児玉さん、月野くん
前方左から 平川さん、野崎さん、山元町長、中西教育長、
吉行さん、斎藤さん

友だちは大切

梶山小学校六年
平川 ちはる



私は、何があっても友だちは大切だと言っています。私は、人には「友だち」が一人二人いた方がよいと思います。なぜかというところ、「こんなことがあったんだよ」とか、「じつはねえ……」と、色々な話をする相手が必要だからです。べつに友だちなんてなくてもいいと思っただけで、自分がこまっている時や何かやみがあるときにだれかに相談したいなと思っただけに、だれも相談する相手がいないとなるとさびしくなるからです。それは反対に友だちがいる場合、自分のなやみを静かに聞いてくれたりなぐさめてくれたら、とても心がおちつくし、悲しみがすくなくないと思います。友だちは何人いても悪くはないと思います。私には、友だちと言う人がたくさんいます。でも、その人たちが本当に「親友」とよべます。しかし、父母からは「がんばることが出来るから、よいのではないか」と言われます。勉強の時は、なかなか手を挙げられないが挙げて発表したいと思っています。それに、思ったことは思いついて言ってみようと思います。自分の考えに、自信をもってまわがって自分のためだと思つ

る友だちなのかは、分かりませんが、相手は親友じゃないと思っただけで、親友だ！と思っただけかもしれない。例えばこんなことがありました。一学期の終わりが、ある一人の友だちとけんかをしました。その友だちは一週間口をきいてくれませんでした。その友だちとは、同じ委員会でした。初めのうちは、「あつちが悪いんだ。」と思っていました。でも考えてみると私の方が悪かったのに気づきました。私は自分の方が悪いんだと分かったと一日三回くらいあやまりました。なんでもなんでもあやまるとその友だちは許してくれた時、あやまってよかったーと思っていました。仲おとりしてから今までもよみよみ仲が良くなったように感じます。けんかをしました。けんかした時は、「このままずっと口をきいてくれなかったらどうしよう……。」と思っただけで、大じょうぶだったので安心しました。私は、このことでやはり友だちとけんかしたりすると不安になったりさびしくなったりするんだというところが、いたいほど分かりました。自分の周りに「友だち」と言う人がいるだけで、うきうきした気持ちになります。私が思うには、友だちは多ぜいた方がいいと思います。

うことなのです。私は多ぜいたうこと、どこかへ遊びに行ったり、お祭りなどにぎやかにすごすのが大好きで、心も体もうきうきになります。その他のことでは、任んでいる所が遠い友だちと文通することが好きです。だからいつも学校から帰ってきたときや、休みの日の朝は起きたときにポストをのぞくのが毎日の日課となっています。私が、友だちとの文通でよく目にとまるのは、雑誌などによくのっている、外国の友だちと文通している人たちの体験のことです。外国の友だちと文通している人たちの写真に写っている顔を見ると、「あーっ本当に楽しそうだなー。」と思います。外国に友だちがいたら、きっと最高だろうな！たくさんさんの知らないことも教えてもらえるかなと考えると嬉しく思います。ですが、私には、今いる友だちにさえるくらい手紙を書いていません。一カ月に二回から六回は書いたり送ったりしようねー。と言っただけで書いていないので自分でも無理だとはっきり分かってはいますが外国の人との文通はしたいと思っています。最後に、最初に述べた通り友だちはみんなそれぞれに一人や二人いなければなりません。でなきゃ自分がさびしい思いをしてしまいます。友だちは自分から、声をか

私はこんな自分になりたい

宮村小学校六年
野崎 幸世



今までの自分は、はっきりしない性格で、いつも自分の意見を言えません。だから、活発な人がすごくうらやましかったです。勉強の時も、分かっているにもかかわらず手を挙げられないし、自分でも「なんでだろう。」と思う時が何回もありました。それに、昼休み遊ぶ時「ここで遊ぼう」と言えないこともありました。こんな自分が、自分でもいやになつてきます。私は、はっきりしない性格です。自分の意見が「ズバツ」と言える人になりたいです。「この性格を直したい。」何度も思うけどなかなか直せることができません。変われるものならば、変わりたいがそんなことできるわけがないと思ってしまうのです。

つまり私は、イヤなことはイヤとはっきり言えないのが私のなやみなのです。そして授業の時間は分かっていて問題があっても、進んで発表できないのです。この二つができれば、最高だろうなと思います。とにかく、この二つができるように努力したいと思います。それから、自分の意見は、はっきり言えるように、なるべくがんばりたいです。「努力するぞっ。」この気持ちを忘れないようにします。それから、私はずっと、自分の気持ちをしっかりと、すっきりするかもしれないと考えます。でも、私は気が弱い所もあるので、そんなはっきり言えるものではないかもしれないです。私は、もつと気が強く活発な人、そういう人をめざしています。気が強ければ、どんな文句を言われても気にしないであらうかもしれません。私の場合は、気が弱くから、だれかに文句を言われれば、すぐ落ち込んでしまいます。そんな、気が弱い所が私の一番悪い所だと思っています。思ったことが言えないと、だんだん「ムカムカ」してき

いじめや差別のない社会にしたい

勝岡小学校六年
吉行 那穂子



今、世界中どこにでも、いじめや差別になやまされ、悲しい思いをしている人が数多くいます。どうすれば、いじめや差別がなくなるか、私なりに考えてみました。時々、ニュースで、いじめにより中学生が自さつしてしまつたというのを耳にします。また、保健室登校のことを新聞で読んだことがあります。このように考えてみると、私たちの住んでいる日本でも、多くの人々が差別され、いじめにあい、それにたえきれなく

なつて、みずから死んでしまうケースも少なくありません。この「いじめ」という悲しい言葉を、どうやってなくしていけばいいのでしょうか。私が、まず思うことは、なにか一つでもみんなとちがう所があるからといって、からかたり、相手のきずつくような事を言ったりしないこと、う事です。みんなと同じでないと、いじめにあうというのでは、個性のない人に育つてしまふと思ひます。自分で思つたり、考えたりのことを実行にうつせることは、とてもすばらしいと思うし、まわりもそれを応援する集団であつてほしいと思ひます。二つ目に思うことは、自分にとつていやなことを、人にむりやりやらせたり、したりしないようにする事です。このようなことをする人は、最低だと思ひます。自分のいやなことを人にやらせるなんて、むりやりやらされる人の気

持ちを、よく考えてほしいです。こんなことをされたら、私だつて学校に行きたくなくなります。最後に思うのは、私たちが勇気を出していじめをしている人に注意することだと思ひます。でも、今の私たちには、注意する勇気がありません。もし、注意したら、私までいじめられたらどうしようという気持ちがあつてもうしても注意できないことがあります。やっぱり自分が大事で、勇気がないのです。たとえば、今、クラスにいじめられている人がいます。自分も、いじめていないつもりでも、注意しなければ、いじめられている人にとっては、いじめている人の仲間とそうちがいがなくなるかもしれません。私は今、多くの人がもつと勇気をもたなくてはいけないことに気づきました。でも、たくさん人の人がもつと勇気をもつにはだいぶ時間がかかるかもしれません。勇気を持つのに時間がかかっても、二十一世紀に生まれてくる子供達の時代には、もつとやさしい心を持った子供達が、きつと「いじめ」という言葉を、なくしてくれることを私は願っています。私たちが一人一人が、がんばつていじめや差別をなくし、だれもが気持ちのよい、学校生活や社会生活がおくれるようにしていきたいと思ひます。

12月4日～10日は「人権週間」です

子どもの人権を守ろう

— 育てよう思いやりの心 —

陰湿で執拗ないじめ、教師による体罰、不登校、親による虐待など、子どもの人権にかかわる問題は依然として深刻な状況にあります。

マスコミなどの報道でしばしば見られるように、なかには、いわゆるアクシデントということでは見過ごせない、重大な事件に発展してしまったケースも出ています。

お互いの異なる点を個性として尊重する思いやりを

これらの問題の根本には、社会全体における人権意識の立ち後れや他人に対する「思いやりの心」の

欠如などが挙げられます。人権意識を養うということは、結局は、他人の心の痛みが分かるということにほかなりません。

例えばいじめは、動きが鈍いと野球が下手だといった集団のなかの異質なものを標的に、ただ異質であるということだけを理由に行われることが多いものです。このような構造は、他の差別問題にも共通していえることです。

差別をなくすためにも、いじめをなくすためにも、お互いの異なる点を個性として尊重する、つまり、他人を思いやる心を育てることが大切です。

子どもの人権専門委員（子ども人権オンブズマン）をご存じですか

わが国では、平成6年に「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」が発効したのを機に、子どもの人権専門委員（子ども人権オンブズマン）制度をスタートさせました。子どもの人権専門委員は、人権擁護委員のなかから選任され、子どもの人権に関する人権侵害事件や人権相談について、特に中心になって活動しています。また、地域住民や親子を対象とした討論会や座談会、講演会などを開催したり、いじめや体罰など子どもの人権問題についてのアンケートを実施して、情報の収集・分析などを行ったりしています。



●困ったときは、一人で悩まないで相談を—

子供にかかわる人権だけでなく、差別問題や家庭内のもめごと、借地借家問題など毎日の暮らしの中で起こる様々な問題でお困りの方は、町の人権擁護委員または宮崎地方務局都城支部（☎22-0490）にお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

町の人権擁護委員

- 轟木秀明
- 柿原信知
- 赤池 徹
- 桑畑初也

（事務所）52-8580

無料相談所の開設

- *と き 12月5日（金）
午前10時～午後3時
- *ところ 町老人福祉センター
- *相談員 人権擁護委員 赤池 徹
柿原 信知

にぎわったスポーツ祭

六種目に千二百二十五名が参加



第五回さわやかスポーツ祭は十月十二日、武道体育館をメイン会場に、勤労者体育センター、河川敷公園、中央テニスコート場などに分かれ開かれました。今年の大会には、小学生から高齢者まで、千二百二十五名が参加、六種目で熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおり

- ミニバレー**
（フリーの部）優勝・土曜クラブC 準優勝・若草A 第3位・つくしB（36歳以上の部）優勝・レインボー 準優勝・長田B 第3位・フレンド（46歳以上の部）優勝・大さぎす 準優勝・上新ミニ 第3位・フレンド（56歳以上の部）優勝・上新ミニ 準優勝・ナインクラブ
- 卓球**
（男子A級）優勝・M1トップA 準優勝・M1トップC 第3位・紫光クラブB（女子A級）優勝・パンパキンB 準優勝・もくれんB 第3位・もくれんA（男子B級）優勝・三股クラブC（女子B級）優勝・みやこクラブD
- テニス**
（1部）優勝・しんちゃんクラブ 準優勝・クラブMAX

- （2部）優勝・NTT 準優勝・市役所（3部）優勝・ハルミクラブ 準優勝・レインボーB
- ミニテニス（ダブルス）**
優勝・中田、中村チーム 準優勝・轟木チーム 第3位・福永、宮元チーム
- グラウンドゴルフ**
（男子）優勝・大村良生 準優勝・原田君男 第3位・宮地久幸（女子）優勝・後野ヨシ子 準優勝・瀬尾トヨ
- 子ども相撲**
第3位・伊藤ノブ子
- （男子団体）優勝・宮村小 準優勝・上米B 第3位・下新、今市（女子団体）優勝・今市A 準優勝・今市B 第3位・東原、下新
- （男子個人・優勝者）小1・原田丈史 小2・福田和紀 小3・上村健志 小4・吉留憲三 小5・大村真也 小6・佐伯直人
- （女子個人・優勝者）小1・志摩希 小2・栗野栄里加 小3・別府志穂 小4・大村由紀恵 小5・坂元早苗 小6・末吉彩

グラウンドゴルフで交流

町内の全児童館と町母親クラブ連絡協議会（会長 大脇幸代）は、「第四回三股町わんぱくグラウンドゴルフ大会」を十月二十五日、三股橋河川敷公園で開きました。

これは、児童の健全育成と町内の児童の交流と親睦を図ろうと、平成六年度から実施しているもの。

大会には、各児童館の呼び掛けによって集まった小学校の児童百九十七名と、児童厚生員や職員二十一名、母親クラブ四十七名、民生委員・児童委員などの来賓三十六名の計三百一名が参加。一チーム約八名で編成し、二十八チームで競技を楽しみました。



大会は、低学年の部（二年～三年）、高学年の部（四年～六年）で争われ、各部門の上位三名に賞品が贈られました。

◎ゲームの結果（敬称略）
（低学年の部）優勝・上原佑介 第2位・大脇拓 第3位・大脇あずさ
（高学年の部）優勝・小牧誉和 第2位・吉澤春樹 第3位・山口龍史

〔お知らせ〕

第六回交通安全

駅伝競走大会

今年も、十一月恒例となった地区対抗駅伝大会が開催されます。コースは、役場をスタート

ト、ゴールとする二十四区間約三十キロの町内一周で、それぞれの地区の小学生から公民館役員までの選手が出場、熱戦が期待されます。

街頭での声援をよろしくお願ひします。

日時 十二月七日（日）
午前十時スタート



力の入った戦いに大歓声

樺山相撲同志会（会長 中石高男）は、11月3日、樺山児童館で「第4回樺山相撲大会」を開きました。大会は、地域の活性化を目的としたもので、子どものすこやかな成長を願おうと今年出生した子ども12人の土俵入りをはじめ、小学校児童60名による取り組み、地元の消防団員ら14名と町内外の力自慢5名による取り組みが行われました。どの対戦も、力の入った白熱した戦いが繰り広げられ、会場に詰めかけた約200名の観衆からは、大きな声援が飛び交っていました。

手をたずさえて50年
金婚60組を祝う！

昭和22年に結婚し、今年で50周年を迎えたご夫婦を祝おうと、町社会福祉協議会（会長 三股町長 山元勝博）は、11月5日、都城市内のホテルで「第12回金婚式」を開きました。この日、招待されたのは、山王原の坂元忠実(77)、和子さん(71)の夫妻ら60組。式の冒頭、山元会長は「戦後の激動の時代を夫婦手を携えて乗り越えてこられたと思います。これからも、夫婦仲良く、いつまでも長生きしてください」と挨拶。その後、それぞれに賞状と記念品を贈りました。



ふれあい標語12名を表彰

町教育委員会は、11月3日、「親と子のふれあい標語」の優良作品の表彰式を「子どもの声を聞く会」にあわせて行いました。標語の募集は、健全で明るい家庭づくりのために、平成6年から毎年行なっているものです。今年は、応募多数の中から、小学生の部、中学生の部、一般の部に分けられ厳選された結果、12点が優良作品に決定しました。表彰式では、それぞれに賞状と図書券が贈られました。（写真は受賞者の方々）

親と子のふれあい標語優良作品

小学生の部	ひとつずつ まいにちはなそう きょうのこと	三股小学校1年	くぼ ゆいか
	親子でね 何でも話せる ほっとする	宮村小学校2年	まつばら ゆう
	あいさつは 大きな声で 元気よく	長田小学校3年	松山 佳奈美
	にこにこ 親子の会話 楽しいね	三股小学校4年	木佐貫 綾子
	おはようと 家族の顔が せいぞろい	梶山小学校5年	細山田 彩乃
中学生の部	考えられますか？ あなた一人 抜けた生活を！	三股西小学校6年	徳 冬太
	楽しい日々は ふれあいからの 贈り物	三股中学校2年	今村 ちか
	ただいまと 心がなごむ この一瞬	三股中学校2年	野崎 砂織
一般の部	ほめたたえ やるぞと思う 我が家かな	三股中学校3年	馬場 美江
	共汗で 笑顔絶やさぬ 我が家族	三股町蓼池	堂村 美津子
	福は内 鬼も来たがる 笑いの家族	三股町稗田	川畑 建三
	親の理解と対話から 素直に育つ 郷土の子	三股町宮村	柏田 功



仕事の苦労を実感

三股中学校の2年生344名は、10月14日、町内の製造業や販売業、農業、公共施設、福祉施設などの仕事を体験する「職場体験学習」を行ないました。これは、身近な職業に触れることで、勤労感や社会への理解を深めさせることを目的に学校が2年前から実施しているもので、ひと学年全員が体験したのは今年が初めて。生徒は、希望する業種を事前に選び、それぞれの作業に従事しました。中米の木下行春さん宅には、農業体験に22名が参加。牛に餌を与えたり、近くの田んぼで稲刈りを手伝い汗を流しました。

公園はいつもきれいに

東原・稗田ランドゴルフ愛好会（会長 時任明 会員30名）は、10月29日の午前8時30分から約1時間かけて、稗田近隣公園の清掃を行ないました。これは、週3回、練習場として使用している公園をきれいにしようと、会員の呼びかけによって実施したものです。当日は、自宅からそれぞれ持ち寄ったホウキや熊手を使い、公園内の落ち葉やごみを集めたり、側溝に溜ったごみを拾いました。時任会長は「使用する場所を清掃するのは当たり前のことです。そのことは、きれいな環境をつくることにつながります」と話されました。



日ごろの成果を披露

町文化協会（会長 山元六男）は、11月2日、町体育館で「第11回文化芸能発表会」を開きました。発表会は、詩吟、舞踊、歌謡、三味線、大正琴、民謡など23部で構成され、日ごろ練習した成果を披露。会場は、約500名の観衆でふくれ上がり、舞踊や演奏などが終了するたびに大きな拍手が沸き起こっていました。今回の発表会では、和太鼓グループ「一風座」（座長 福永譲二）の演奏が御披露目され、場内の雰囲気を一気に盛り上げました。

町おこしは我々の手で

県南地区の市町村の地域おこしグループのリーダーを対象にした「新ひむかリーダー交流セミナー」（主催 新ひむかづくり運動県民会議）は、11月1日から2日にかけて町中央公民館や都城市内のホテルを会場に開かれました。セミナーは、Mの町龍雲塾（塾長 山下盛親 会員12名）が実行委員会となって進めたもので、25の団体から75名が参加。参加者は、地域の素材を生かした自ビール作りに挑戦したり、日本ソムリエ協会会員で長谷部尚子氏による講演、地域おこし活動についてのグループ討論を行ないました。



図書室 だより



No116

○映写会の開催

- 日時 12月26日(金) 午後2時～
- 場所 中央公民館2階
- 内容 幼児から小学生向け

○人形劇と講演会の開催

綾町にお住まいの木村晃彦さん、光子さん夫妻による人形劇『森のうた』と講演会『絵本と子育てについて』を開催いたします。家族お揃いでお越しください。

- 日時 12月14日(日) 午後2時～
- 場所 三股町中央公民館
- ※入場は無料です。

(講師紹介)

木村晃彦 (55歳) …イラストレーター

1984、1997年に絵本「あきちゃんとかみなり」発行

木村光子 (49歳) …元幼稚園教諭、現在綾町児童クラブ指導員

1996年4月に千葉県から綾町に引っ越しされ、二人で人形劇と講演(絵本と子育て)を行なったり、県立図書館等で絵本の読み聞かせを実施している。

おすすめの1冊

～ぜひ1度読んでみては～



【一般向】
まる子だった
さくら ももこ 著
小学生だったあのころ々には、爆笑とともによみがえる、おかしな出来事がこんなについて。お気楽で濃密なエッセイに、おまけのページも付いてちょっとうれしい一冊です。



【一般向】
氷の淑女 上・下
シドニー・シェルダン 著
挙式直前、裏切られて捨てられたレスリー。男は上院議員の娘と結婚し、強力なバックアップを得て大統領への階段を昇り始める。悲嘆のどん底でレスリーは、メディアの世界から、彼への復讐を誓う。



【児童向・幼児向】
こまた! ちいさなおきやくさん
ザラスタ・バラーンコヴァー 著
3匹のこぐまの家の窓から、かわいらしい子ねこが中をのぞいています。くまたちは、家の中にいれないと決めますが、日にちがたつにつれて、子ねこのことが心配にはじめます。

そのほかにも、一般向322冊、児童・幼児向87冊を新しく入れました。ぜひ読んでみてください。

○12月の休館日

1日・2日・3日・8日・9日・15日・16日・21日・23日・28日から31日まで

○1月の休館日

1日・2日・3日・6日・7日

シリーズ 健康管理 ②

「肥満克服」

町立病院の医師のご協力により、「健康管理」をシリーズで掲載いたします。
第2回目は、「肥満克服」です。



三股町国民健康保険病院
内科医 松尾 剛志

今回は、肥満克服について紹介いたします。まず、敵(肥満)を倒すためには、その成り立ち(原因)から考えなければなりません。肥満は、遺伝子が関与することも判明してきました。しかしながら、それ以外にも以下のような原因があります。

- (1) 加齢とともに、省エネルギー型の体(エネルギーをためやすい体)になるのに、昔と同じ食事をしている。
- (2) 外食が多い。不規則な生活。夜型生活。寝る直前の食事。
- (3) 早食い。ながら食い。残飯整理。つまみ食い。まとも食い。いただきものだからと食べる“気がね食い”。
- (4) アルコール、果物、菓子のとりすぎ。
- (5) 運動不足。
- (6) 近くまで外出するのに車を使用する。1階上に上がるのにボタンひとつでいいエレベーターを使用する。座ったままコントロールできるリモコンを多用し、スナックをつまむ。
- (7) 精神的な弱さ。

などが挙げられます。要は、このような原因をなくすこと、つまり、生活習慣の見直しで肥満克服への第一歩なのです。(これらから考えると、現代は肥満を作りやすい環境を兼ね備えた社会であるとも言えます。)

一般的に、肥満克服の第一の方法は食事療法と運動療法です。食事療法の原則は、腹八分から六分にして、バランスよく、野菜もしっかりとるということです。どちらかという、おかずを減らして、ご飯は適量とるほうが、満足感があり、かえって食べすぎを防ぎます。また、濃い味付けは食欲を増すため、味付けは薄めにしましょう。運動療法の原則は、毎日できるだけ体を動かす(歩く、体操するなど)ことです。激しい運動では減量出来ません。少し汗ばむくらいの軽い運動を毎日1時間程度行うことが重要です。

また、これら以外で重要な事として、現在の状態と将来の理想をしっかりと認識することです。一種の意識改革と言うものでしょうか。『何故、肥満になったのか?』『肥満により失ってきたものは何か?』『肥満により苦しかった事、辛かった事は何か?』『何故、今、減量しようとしているのか?』『減量により得るものは何か?』『減量がある程度成功したら、何をしようか?』などを考え、それらの答えをしっかりと意識することが重要です。また、減量中は精神的に弱い面が出てきます。始めは、減量がうまくいっていても少なくとも一度は壁にぶつかって挫折しそうなことが必ず出てきます。その時に周囲の人々がうまくサポート(精神的なケア)ができるか否かが肥満克服の成功の鍵です。

最後に、衝動的な感情にまかせての急激な減量は危険です。肥満克服の王道はありません。食事療法と運動療法の継続、生活習慣の見直し、意識改革、精神的サポートにより肥満を克服しましょう。

次回は「コレステロール」について紹介します。



『私と図書館』

No 8



大坪仁一さん

今回は植木で酒屋を営まれている大坪仁一さん(46)を訪ねました。大坪さんは、0986会のメンバーで、環境問題、人の健康について関心をもたれているとか。

Q それではどのようにしたら魅力ある図書館になると思いますか

A 私はお店をやっているのでも似たところがあるのではないのでしょうか。やはり、新しい本が少なければ人は利用しないと思うし、本だけではなく、何か話題になっているようなことをテーマにして展示コーナーを作ったり、チラシもいつもとちがう色、質、形の紙を使ったりと利用する人を満足させるような努力が必要ではないでしょうか。

Q 以前、何回か行ったことはありますが最近は何もしていませんね。

A 仕事をされていますから仕方がないと思いますがそれ以外に理由は図書館に行きたいと思わせる魅力がないことも挙げられます。

○リクエストお待ちしています

現在、三股町では総合文化施設の建設準備中です。特に、図書館では今後2年間で3万冊以上の本を購入する計画です。そこで、町民の皆様からごうたった本を購入してほしいという要望があれば中央公民館図書室までご連絡ください。

中央公民館図書室 0502-11111

おしらせ



■成人式■

成人式を開催します

○日時 平成10年1月5日(月)
受付 午前9時15分
開式 午前10時

○会場 町体育館

※新成人者の皆様には、成人式の案内をはがきで通知していますが、届いていない方は、下記のところまでご連絡ください。

生涯学習課 (☎52-1111 内353)

■募 集■

放送大学学生募集

放送大学は、テレビやラジオを効果的に活用して大学レベルの生涯学習の機会を提供する正規の大学です。平成10年1月後半よりCS(衛生放送)やケーブルテレビによる全国放送を開始し、自宅で授業が視聴できます。

◆18歳以上ならどなたでも入学できます。

◆入学試験はありません。

◆幅広い分野の約300科目があります。

◆土曜・日曜日も利用できます。

◆学士(大学卒業)の資格も取れます。

◆入学金

選科履修生(1年間) 6,000円
科目履修生(半年間) 4,000円

○募集締め切り

平成10年2月15日(日)必着

○資料請求・問い合わせ

放送大学宮崎地域学習センター
☎0982-53-1893

平成10年度宮崎県東京学生寮入寮生の募集

○対象

県内に居住する者の子弟で、東京都およびその周辺に所在する大学、短期大学及び修業年限2年以上の専修学校専門課程に入学見込みの男子学生。

○募集人員

50名程度(1部屋2名定員)

○入寮期間

平成10年4月1日～
平成12年3月31日

○寮費

月額 18,000円程度
(食費、電気料金別途)

○募集期間

平成9年11月20日(木)～平成9年12月19日(金)

○問い合わせ

宮崎県総務部管財課
〒880 宮崎市橘通東2-10-1

☎0985-26-7018

危険物安全週間推進標語の募集

毎年6月の第2週は「危険物安全週間」とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取り扱いの安全を呼びかける標語を募集します。

○応募方法

- ・官製はがき1枚につき標語1点とする
- ・郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号を明記
- ・未発表のものに限る

○締め切り

平成9年12月25日(木)必着

○賞

- ・最優秀作 1点(消防庁長官賞と副賞20万円)
- ・優秀作 1点(危険物安全協会理事長賞と副賞10万円)
- ・優良作 10点(1万円相当の記念品)

※入選作品の著作権は主催者に帰属するものとする

○あて先

〒105 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号 日本消防会館5階
(財)全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会
☎03-3597-8393

○問い合わせ

都城地区消防本部予防課
☎22-8884

■教育ローン■

「国の教育ローン」は、教育のために必要な資金を融資する公的な制度で、入学時や在学中の費用として幅広く使うことができます。

○対象者

専修学校、各種学校、大学、短大などへ入学・在学される方の保護者またはご本人で、前年の年収が、1,210万円(事業所得者の場合は990万円)以内の方

○融資額

学生お一人につき150万円以内

○返済期間

8年以内(交通遺児家庭または母子家庭の方は9年以内)
※据置き期間は、最長で4年です。

○融資利率

年2.7%(10月17日現在)

○問い合わせ

国民金融公庫宮崎支店

〒880 宮崎市橘通東3-6-30

☎0985-23-3274 融資相談係

■催 し■

第19回健康走ろう会

○日時 1月25日(日)
受付 午前8時30分
開会式 午前9時

○場所 三股町中央公民館前

○種目

- ・小学1～2年男女 1.0km
- ・小学3～4年男女 1.5km
- ・小学5～6年男女 2.0km
- ・中学生・一般女子 2.0km
- ・中学生・一般男子 2.0km
- ・中学生・一般男子 5.0km
- ・ファミリージョギング(12歳以下の子供とその家族) 2.0km

○問い合わせ

教育委員会生涯学習課
☎52-1111 内線361

きりしまんぢだ

(1市6町の行事紹介)

●都城市

○勤労青少年ホーム「ぼんちの会」

文化祭「歓歌祭」(かかんさい)

■期日 11月30日(日)
■会場 神柱公園
■内容 フリーマーケット、作品展示、ステージ発表など

■問い合わせ 市生涯学習課

☎23-9545

○第19回おしゃれマラソン

■期日 12月21日(日)
■会場 市陸上競技場

■問い合わせ 大会事務局

☎26-0480

●山之口町

○村おこし朝市

■日時 12月14日(日)午前7時～
■会場 JR山之口駅前広場
■問い合わせ 役場企画開発課
☎57-3111

●高崎町

○ふるさとファミリー劇場

■日時 11月30日(日)
午後1時30分開演
※入場無料

■会場 高崎中学校体育館

■問い合わせ 役場社会教育課

☎62-1111

愛の献血

10月の献血協力
10/20 都城東高校 263名
ご協力ありがとうございました。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

平成9年10月1日から平成9年10月31日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
満丸健三(母)	ムラ	92 森木	5万円	
上沖ミカ(夫)	義孝	79 谷	5万円	
中村鈴子(夫)	義盛	75 谷	3万円	
中原利秀(母)	カスミ	83 上米	3万円	
永井藤雄(長男)	雄一	47 梶山	3万円	
永山親盛(母)	シゲ	99 梶山	5万円	
小牧真博(母)	フヂエ	92 山王原	10万円	
岩元 毅(次男)	純司	30 仲町	5万円	
大脇 イツ子(夫)	親	79 中米	3万円	

一般寄付

杉尾 美鈴 結婚式時感謝の気持ちとして寄付 2万円
旧姓(田牧)絨作氏の次女

情報募集中!

身近な話題などありましたらどんな小さなことでも結構です。どしどしお知らせください。
役場総務課秘書広報係
☎52-1111 内222

三股中学校創立50周年記念情報

十二月六日(土)の日程

いよいよ十二月六日が目前に迫りました。その六日の日程は次のとおりです。

*創立五十周年記念式典

場所 三股中学校体育館
時間 九・〇〇～九・四十五
参加 三股中生徒・職員
来賓若干名

*記念講演

場所 三股中学校体育館
時間 十・〇〇～十一・三〇
講師 北別府 学氏
演題 私の野球人生と二十一世紀を担う皆さんへ

*記念祝賀会

場所 三股町体育館
時間 十四・〇〇～十六・〇〇
会費 二、〇〇〇円
参加 希望者原則、残り割当て(特に案内は出しておりません。各地区の地区長さんへ申込みの形式です。たくさんのご参加期待。)

また、部活動のほうも頑張っており、県秋季大会(新人戦)にも、野球が夏秋連続の出場を果たし、またサッカー部も県大会の活躍が期待されています。その他の部ももちろん、十を越す部が出場します。今また新しい歴史に向かう三股中です。

三股中学校の現在

*町の事業として

管理棟の防水、塗装工事完了
正門の補修、塗装完了
(お色直しができ、正門を入れると正門や管理棟が陽に輝いています。)

*五十周年記念事業として

正門付近庭園(枯山水)完了
正門正面ロータリー改築完了
駐車場拡張完了
記念誌は進行中

*生徒の様子

今、特に各学年が中心となって文化祭に向けて燃えています。ちぎり絵の大作に挑戦したり、劇の練習に余念がありません。

また、部活動のほうも頑張っており、県秋季大会(新人戦)にも、野球が夏秋連続の出場を果たし、またサッカー部も県大会の活躍が期待されています。その他の部ももちろん、十を越す部が出場します。今また新しい歴史に向かう三股中です。